

# 通明小学校150周年事業たより

150から200周年へ、時をさきがけ、未来をつかもう

~ The power to change myself ~

「一人一人の勇気で、新しい世界の光となれ！」

## 最終号

令和6年1月1日

通明小学校150周年記念事業  
実行委員会

### 実行委員長 御礼あいさつ

通明小学校150周年記念事業  
実行委員長 久保田 盛雄



#### 計画した150周年記念行事の全てが無事終了しました。

去る11月10日長野県民文化会館（ホクト文化ホール）大ホールにて、通明小学校150周年記念音楽会・式典が無事開催されました。

音楽会の司会は卒業生の島田秀平さん。式典には荻原健司長野市長がご臨席くださいました。また姉妹校の北海道鹿追町通明小学校より小林校長先生、石沢PTA会長にお越しいただきました。

多くの方々が心を寄せ、温かいお祝いの言葉や、笑顔で包まれ感動的な音楽会・式典となりました。地域の皆様、先生方、児童・保護者、関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

通明小は「地域の活力と誇り」です。これからも地域と共に歩み、成長し、未来への架け橋となることを願いご報告とさせていただきます。



### 学校長 御礼あいさつ

長野市立通明小学校  
第42代校長 早川 孝一

#### 令和5年11月10日に開催された記念式典でのご挨拶（一部抜粋）

さて、本校は、明治6年に開校し、以来150年の歴史を積み上げてまいりました。

約4年間のコロナ禍においても、「至誠神明（しせいしんめい）に通ず」の心意気で力強く教育活動を推進し、その中で150周年の節目に向けて着実な歩みを進めて参りました。本年、その花が見事に開き、集大成としての本日の記念音楽会、記念式典を迎えさせていただいたところでございます。

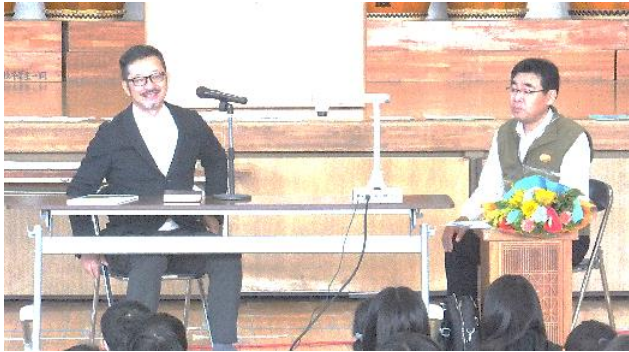
4年ぶりに観覧制限のない、全校児童が一堂に会して行われた6月の校庭大運動会。大獅子の激励も受け、児童たちは大いにエネルギーを爆発させました。フィナーレで、渡辺同窓会長様のカウントダウンにより一斉にリリースされたバルーンが、青空に吸い込まれていった様子は、今でも目に焼き付いています。他にも様々な活動を150周年と結び付け、行ってまいりました。卒業生の三ツ井さん、若林さんを招いての交流会、記念事業として整備いただいた「通明テラス」での「通明ライブ」等、これらはすべて児童自らが企画し、実行したものです。学校教育目標である「自ら考え 自ら行う かがやく子ども」を具現している姿が随所にみられました。

マンガ記念誌の中で、こんな一節があります。「この場所で泣き笑い、多くの思い出を作り、多くの児童が巣立っていった通明小学校という学び舎。当時の人たちの思いが時代を超えて繋がり、やがてさらに多くの人を動かし、この学校のかけがえのない歴史が築かれてきた」一通明小学校の今の歴史を刻む児童の皆さんには、そうしたすばらしい歴史と人のつながりの中で自分たちはいるのだということをお忘れずに、さらに力強く歩み、新たな歴史を作っていくって欲しいと思います。

結びに当たり、これからも150年という歴史に恥じない努力をし、地域と一体になった学校づくりに向けて努力することをお誓い申し上げ、ごあいさつといたします。

# マンガ記念誌の贈呈式が開催されました

令和5年10月12日(木) 制作者の宮尾佳和さんよりマンガ記念誌が贈呈されました。



◎ 6年生との語る会の様子



◎ 記念誌にサインをする様子

150周年記念事業である通明小学校の150年の歴史を記した「通明小学校百五十年史」が完成しました。この記念誌の特徴は、マンガ「時と命の物語」113Pと150年の沿革「歩んだ歴史と思い出」47Pを両表紙にして1冊にまとめたものです。

令和5年10月12日通明小体育館において、マンガ記念誌の制作者であるアニメーション監督の宮尾佳和さんから、児童代表へ記念誌が手渡されました。

贈呈式の終了後には、6年生を対象に宮尾さんとの語る会が催され、マンガ制作時のエピソード等を直接語っていただきました。宮尾さんからは、「マンガを読むことで通明小学校の150年の歴史を体験して欲しい」との思いが児童へ伝えられました。

この記念誌は、ご寄付を頂いた皆様への返礼品としてお届けさせていただきました。ご愛読いただけましたら幸いです。

# タイムカプセル開封式が開催されました



令和5年11月3日(金) 20年前に埋めたタイムカプセルを開封しました。



◎ 当時の先生も参加されました。

遡ること20年前。通明小学校創立130周年記念事業として、タイムカプセル「夢」を校庭に埋めました。このタイムカプセルは、20年後にあたる11月3日正午に開封することを約束しました。

そして約束の日、当時の在校児童768名のうち約300名が集まり、在校時の先生方と一緒に開封式を行いました。

タイムカプセルを事前に確認したところ、令和元年の台風19号により一部が浸水していたため、実行委員会役員が掘り起こし、作文や写真を乾燥させ、卒業生に手渡しました。

懐かしい先生や仲間と再会して楽しんでいる様子や、20年前の自分と対面して、照れ臭そうに懐かしんでいる参加者の姿がとても印象的でした。

開催にあたり、沢山の卒業生が有志ボランティアとして当日の運営を支えてくれました。ご協力ありがとうございました。



◎ 約300名の卒業生が体育館に集まりました。



# 記念音楽会・式典を開催しました ～ホクト文化ホール～

令和5年11月10日(金) ホクト文化ホールにて記念音楽会、記念式典を開催しました。



## 長野市立通明小学校 創立 150 周年記念音楽会・記念式典

150 から 200 周年へ  
— 時をさきがけ、  
未来をつかもう  
— The power to  
change myself —



歌声響く通明小学校の伝統を継承し、児童の記憶に残る記念事業にしたいとの思いから、長野県を代表する文化芸術活動の拠点施設ホクト文化ホールにて、創立150周年記念音楽会と記念式典を開催しました。

会場までの移動については、児童の安全を最優先として、低学年1～3年生はバス移動、高学年4～6年生は貸切団体電車での移動としました。特に電車移動は380余名の児童とその保護者を含む800余名の大移動でしたが、綿密な計画と篠ノ井駅を始めとした関係者のご協力のもと、安全に定刻通りの移動をすることが出来ました。

◎ (上) 駅自由通路は児童・保護者で埋め尽くされました

◎ (下) 団体特別電車「通明小学校150周年記念号」出発！

児童保護者の他約90名の来賓をお招きし、2000人収容の会場は満員となりました。記念音楽会の進行は、本校卒業生でタレントの島田秀平さんが務め、児童との掛け合いで会場を大いに盛り上げてくれました。各学年日頃の成果を発揮して、素晴らしい歌声が披露されました。

式典には荻原市長、北海道通明小の小林校長、石澤PTA会長他の方々が来賓として出席くださいました。各記念事業を支えてくださった企業4社の代表者に感謝状を贈呈し、弦楽団を招いての150周年記念歌の「行こう」の全員合唱、児童による未来への宣言、最後に会場全員で校歌を斉唱しました。

通明小学校の歴史と伝統を振り返りながら、この先200周年へとつながる素晴らしい式典となりました。



◎ 満員となった大ホール



◎ 感謝状贈呈式



◎ 島田秀平さん



◎ 式典の最後は会場全員で校歌を斉唱

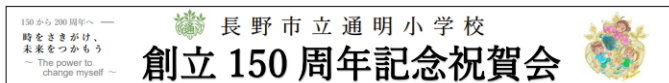


◎ 式典司会の小関益子さん

9. 閉式のことは

# 祝賀会を開催しました ～ホテルメトロポリタン長野～

記念式典終了後、関係者の皆様と一緒に祝賀会を開催しました



◎ 同窓会、実行委員会事務局、宮尾様、島田様を壇上に、万歳三唱が行われました

令和5年11月10日（金）午後4時から、ホテルメトロポリタン長野において、記念祝賀会を開催しました。ご寄附者の方々を中心に85名の皆様にご出席をいただきました。

ご来賓を代表してご挨拶をいただいた高澤通泰様からは、通明小学校150周年の記念行事に尽力された全ての皆様に厚く感謝したいとお言葉を頂戴しました。祝宴では、歴代の校長先生から当時の懐かしいエピソードや、記念歌「行こう」の作詞作曲を担当された野口先生、夏目先生に完成までのいきさつや思い等をご披露頂きました。

出席者一同による校歌斉唱をもって、和やかな歓談の宴は終了となりました。ご出席された皆様、本当にありがとうございました。

## ともどち劇団特別公演 ～通明かずちゃん～

11月29日（水）、通明小4年4組ともどち劇団による人形劇「通明かずちゃん」が篠ノ井交流センターで開催されました。この人形劇は、同校同窓会長の渡邊一正様をモデルに、戦時下の少年が厳しい状況ながらもたくましく生き、将来、復興に向け地元貢献したいと決意する物語です。

人形、背景、小道具は児童による手作りです。20分の熱演後、大きな感動と大きな拍手が会場に沸き起こりました。ともどち劇団及び関係者の皆様、ありがとうございました。



◎ともどち劇団の上演の様子

## 編集後記 ～ 通明小学校150周年記念だより最終号 ～

令和3年8月「委員会たより」創刊以来のご愛読ありがとうございました。

令和元年6月に発足した「通明小学校150周年記念事業実行委員会」は、「創立150周年記念式典」の開催まで約1,600日間活動をしてまいりました。この間、皆様の多大なるご支援、ご協力を賜りましたことに厚く感謝申し上げます。



最後になりますが、“通明小学校と地域の交流拠点”として整備した「通明テラス」で児童の歌声が響き渡り、大勢の地域の皆様や卒業生が語る姿を想像しながら、「150周年事業たより」を終了とさせていただきます。長きにわたりご愛読いただきありがとうございました。

通明小学校150周年記念事業実行委員会一同